



二口山塊のふところ深く発した清水は、流れを集めて名取川となり、やがて太平洋に注ぐ。この奥秋保の急峻な地形を巡ってきた流れは、ところどころに個性煌めく瀑布を生んだ。

その威容を間近に望めるものもあれば、人を簡単には寄せ付けないものもある。いずれも類まれなる大自然の造形として、秋保が世に誇る貴重な財産である。

秋保

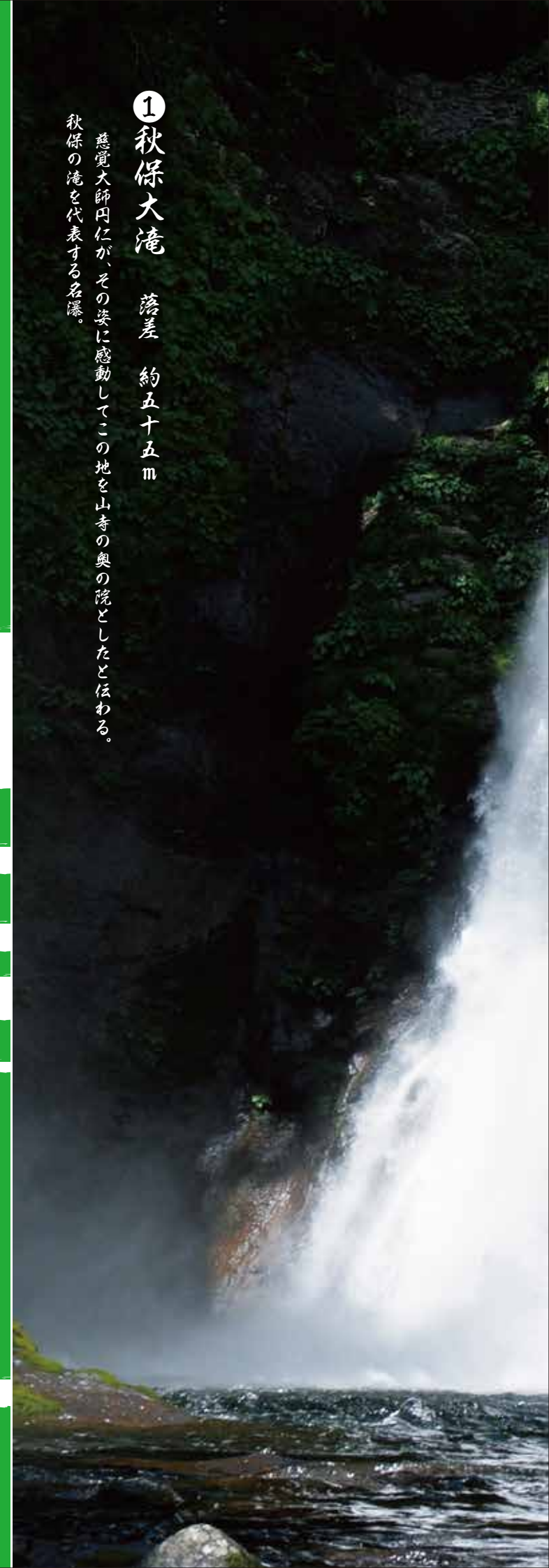
あきうの滝めぐり — 大滝から二口沢編 —

いってみっぺ 秋保 あきうの滝めぐり — 大滝から二口沢編 —

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

清流名取川の本流を彩る数多の滝
名瀑秋保大滝から二口沢へ
飽くことなき水と光の冷涼なアート
奥深き秋保の美しい滝をめぐる旅

① 秋保大滝 落差 約五十五m
慈覚大師円仁が、その姿に感動してこの地を山寺の奥の院としたと伝わる。
秋保の滝を代表する名瀑。





あきうの滝めぐり — 大滝から二口沢編 —

⑤ 姉滝 落差 約十六m
かつて穴滝と呼ばれた天然記念物の姉滝。滝口の穴はすでに失われているが、岩をえぐるように流れ落ちる深山幽谷の美しい滝だ。

⑦ 風の洞滝 落差 約十m
名取川本流風の洞から十五分ほど風の洞沢を登る。涼やかな風を感じながらずっと眺めていたくなるような野趣溢れる風情だ。



落差 約十m



⑥ 白糸の滝 落差 約四十m
巨大な一枚岩を滑るがごとく流れ落ちる無数の白糸。二口沢を代表する滝の一つだ。



落差 約十m



番外 磐司岩幻の滝
磐司駐車場の少し先から、雪解けの一時だけ枝間に姿を見せる神秘の滝。運が良ければ…。

② すだれ滝
平らな沢床が割れて広がり、すだれの如く流れ落ちる。大滝植物園の最奥から望まれる。



落差 約三m

③ かじか滝
すだれ滝から上流へ四百mほど。どこからかカジカガエルの声が届いてきそうな清流の名瀑。



落差 約五m

④ 釜淵
河童伝説の残る荒々しい岩の間に、絵になる淵を穿つ滝があった。



落差 約七m



③、⑦、⑧などは、道が整備されていない秘境の滝で、沢を歩くこともあります。実際に見るためには十分な装備と体力が必要です。		⑧ 布引の滝 徒歩40分		⑦ 風の洞滝 徒歩40分		⑥ 白糸の滝 車15分		⑤ 姉妹滝 車20分		④ 釜淵 徒歩15分		③ かじか滝 徒歩25分		② すだれ滝 徒歩15分		① 秋保大滝		滝から滝へのおおよその所要時間	
--	--	--------------	--	--------------	--	-------------	--	------------	--	------------	--	--------------	--	--------------	--	--------	--	-----------------	--